

- ◆ 佐賀県小城市と西九州大学は、中心市街地の活性化策として、同市中心部にある小城公民館(市有地)に同大学地域看護学部(平成30年度開校)の設置を計画。しかしながら、当該市有地だけでは同大学キャンパスの適正な規模の確保ができないことから、同市は、当該市有地に隣接した場所に**国有財産(小城公園。同市に無償貸付)**を保有する佐賀財務事務所に対し、当該国有財産の一部の同大学への売却を要望(26年11月)。
- ◆ 当所は、同市からの要望を受け、**同市と意見交換をきめ細かく行い、売却に向けたスケジュール等処理案**を提案。関係者との調整が整ったことから、**28年2月に同大学用地部分として当該国有財産の一部を処分**。
- ◆ 国有財産の活用を通じて、地域の活性化策に寄与。今後も、地域のニーズに応じた国有財産の有効活用を図り、地域貢献に努めていく。

1. 成果事例の概要等

- 佐賀県小城市と西九州大学は、シャッター通りが目立つ中心市街地の活性化策として、同市中心部にある小城公民館(市有地)に同大学地域看護学部(平成30年度開校)の設置を計画。
- しかしながら、市有地だけでは同大学キャンパスの適正な規模の確保ができないことから、同市は、当該市有地に隣接した場所に**国有財産(小城公園。同市に無償貸付)**を保有する佐賀財務事務所に対し、当該国有財産の一部の同大学への売却を要望(26年11月)。
- 当所は、同市からの要望を受け、同市と意見交換をきめ細かく行い、**売却に向けたスケジュール等処理案**を提案。関係者との調整が整ったことから、28年2月に大学用地部分として当該国有財産の一部を処分。

《参考：小城市の地域活性化策の背景》

- 人口減少及び超高齢社会における医療、介護、保健等の専門職である看護師の役割は益々重要となっているものの佐賀県内及び小城地域において、医療、介護等の現場における看護師不足が常態化。
 - 同市に西九州大学キャンパスが開校し、卒業生がこの地域で就職することにより、地域の看護師不足が補われることは、「健康、福祉日本一のみち(同市総合計画)を目指す」小城市にとって、住民が地域で安心して暮らすことができる環境づくりに資する。
- ⇒ 同大学キャンパスが中心市街地に立地することで、**次世代を担う若年層の転入増加につながり、二次的、三次的な経済波及効果が生まれ、地域の活性化を期待。**



【国有財産の概要】

所在地：佐賀県小城市小城町字桜岡176番8外
 土地：38,541.10㎡
 (小城公園(地盤国有公園)：小城市に「無償貸付」)
 うち処分面積：1,528㎡

《処理の経緯》

26年11月：小城市が小城公園の活用について相談
 27年 1～7月：当該国有財産の処理に関し意見交換
 27年 4月：同市と西九州大学が基本協定を締結
 27年 8月：同公園区域の変更を同市都市計画審議会へ
 諮問・答申
 27年 9月：都市計画決定
 27年10月：同市との無償貸付契約を変更し、同大学用地となる部分の返還を受ける
 28年 2月：同大学(永原学園)と売買契約を締結

2. これまでの取組の成果等

- 同計画を踏まえた、的確な処理案の提案と迅速な対応。
 ⇒ 30年4月の開校に向け、28年度から校舎新築工事着工。



- 国有財産の活用を通じて、地域の活性化策に寄与。

3. 今後の佐賀財務事務所の対応

- 今後も、地域のニーズに応じた国有財産の有効活用を図り、地域貢献に努めていく。